



河小だより

校区内
全戸回覧

10月22日発行

チームワークよく・・・

校長 野上 孝

学校には多くの行事があります。例えば、運動会、マラソン大会、学習発表会、6年生の修学旅行、5年生の自然体験学習等々……。他にも、入学式や卒業式、始業式・終業式のような儀式的行事もあります。

では、いったい何のために行事をやるのでしょうか？当たり前のことですが、一つ一つの行事を行うにあたり、職員会議でそのねらいを確認し、子どもたちの指導にあたっています。どの行事もそうですが、一つだけ共通して言えることは、「子どもたちにとって感動ある行事に！」ということです。「感動がなければ行事ではない！」といっても過言ではありません。

子どもたちにとって感動ある行事にするには、子どもたちが力を発揮できる機会を多くつくることです。運動会にしても、マラソン大会にしても、学習発表会にしても、時には大変で嫌になったり、投げ出されたりすることがあるかもしれません。しかし、それを乗り越えた先に本当の意味の感動が待っているのかもしれません。

「チーム」という言葉があります。何か一人で取り組み感動を味わうことも多々ありますが、学校行事の多くは集団での取組、活動が多いものです。子どもたちの身近なところでは「自分のクラス」がチームです。どのクラスもチームワークよくがんばっています。行事に向けてのエネルギーは、目を見張るものがあります。

では、チームワークをよくするためには何をしたらよいのでしょうか。方法はいろいろありますが、まずは「周りの友達のよいところを見付ける」ことが大切です。どの子にもよさがあります。よさを多くの人に気付いてもらうこと、逆に気付くこと、これがチームワークの第一歩です。自己肯定感や自尊感情が高い人が集まっているチームは、他を思いやる心も強く大きくなります。そして、より質の高いチームとなります。

今年度も半分が過ぎました。これからもまだまだたくさんの行事があります。これからも河原田小は、周りの友達を大事にし、よさを見付け、チームワークのよさで行事や様々な教育活動に臨みます。

6年修学旅行 (9/30~10/1 佐渡島内 小木~羽茂~両津~金井~佐和田方面 他)

新型コロナウイルスの全国的な拡大により、延期、方面変更とした修学旅行。福島県会津方面へは断念しましたが、改めて佐渡を見直す一つのチャンスとして捉え、実施しました。天候にも恵まれ、子どもたちも2日間、佐渡のよさを知り、佐渡への愛着を深めることができました。

